製品安全データシート

改訂日：2007年9月20日

1. 製品及び会社情報

製品名	水銀
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町２丁目３番１１号
担当部門	品質管理課
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業（株）三国工場
整理番号	CC0003

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚感作性： 区分1
生殖細胞変異原性： 区分2
生殖毒性： 区分1A
特定標的臓器・全身毒性：区分1（呼吸器、腎臓、中枢神経系、
（単回ばく露） 歯肉、消火管、心血
特定標的臓器・全身毒性：区分1（中枢神経系、末梢神経系、腎
（反復ばく露） 臓、 歯肉、心血管

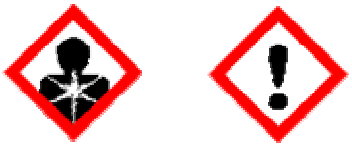
環境に対する有害性

水生環境慢性有害性： 区分4

＊記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器、腎臓、中枢神経系、歯肉、消火管、心血管系、肝臓の障害
長期又は反復ばく露による中枢神経系、末梢神経系、腎臓、歯肉、心血管系、血液系、肝臓の障害
長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこ
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けるこ
保護手袋を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激又は発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】

施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成､成分情報

単一製品･混合物の区別	単一製品
化学名	水銀
成分及び含有量	９９．５ %以上
危険有害成分	水銀
化学式又は構造式	◇分子式…Hg（元素記号）
官報公示整理番号	◇化審法…対象外
CAS No.	７４３９－９７－６
	◇TSCA…有り
	◇EINECS…２３１１０６７

4. 応急措置

眼に入った場合	１．ガーゼ、脱脂綿でふきとり、清水で十分に洗い流
皮膚に付着した場合	１．汚染された衣服や靴を脱せ、付着又は接触部をガーゼ、脱脂綿でふきとり、清水で十分に洗い流す。 ２．医師の診断を受ける。
吸入した場合	１．新鮮な空気の場所に移し衣服をゆるめ、毛布等でくるみ保温する。 ２．医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	１．多量の水を飲ませ、吐かせる。 ２．休ませない。 ３．医師に連絡。

5. 火災時の措置

消火方法	
消火要領	１．周辺火災の場合の処置は次による。 ・容器を安全な場所へ移動する。 ・移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。 ・周辺火災の消火に努める。
消防活動装備	１．防護衣。 ２．空気呼吸器。 ３．循環式酸素呼吸器。 ４．ゴム長靴。
消火剤	泡、二酸化炭素、ドライケミカル

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法	１．漏えい液の拡散防止は、土のう積みによる。 ２．吸収させる場合は、多硫化カルシウムで覆う。 ３．危険区域から立ち退き、専門家に相談。 ４．漏出液ならびに漏洩液を密閉式の容器にできる限り集め、残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。 ５．特別個人用保護具：自給式呼吸器。

7. 取扱い及び保管上の注意

注意事項	吸入すると有毒である。蓄積性影響の危険がある。水棲生物に対して非常に有毒であり、水系環境に長期にわたり悪影響を及ぼす懸念がある。

安全取扱い注意事項	錠をかけ子供の手の届かない場所に保管する。容器を気密して保管すること。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける（出来ればﾗﾍﾞﾙを見せる）。この物質や容器は有害廃棄物として処理する。環境中への放出を避ける。特別な指示/製品安全データシート(MSDS)を参照する。
取扱い	１．ミストの発生を防ぐ。 ２．（妊娠中の）女性への暴露を避ける。 ３．作業中は飲食、喫煙をしない。
保管	１．耐火構造。 ２．アジ化物、アセチレン、アンモニアから離しておく。 ３．蒸発を防ぐために、容器を水の層で覆う。
安全な容器包装材料	ガラス

8.暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項	１．災害現場付近は混触等により引火、爆発の危険があるので火気厳禁とする。 ２．金属ナトリウム参照。 ３．河川等に多量に排出されないように注意する（排出基準　Hgとして０．００５㎎／ｌ以下）。
管理濃度	Hgとして０．０５㎎／ｍ３
許容濃度	ACGIH（２００３年） TLV－TWA　０．０２５㎎／ｍ３（皮、Hgとして） 日本産業衛生学会勧告値（２０００年） ０．０２５㎎／ｍ３（Hgとして、蒸気） OSHA PEL TWA　０．１㎎／ｍ３（上限値） NIOSH REL TWA　０．０５㎎／ｍ３（Hgとして）
生物学的許容値	日本産業衛生学会；３５μg／g・Cr（尿）
設備対策	
安全管理･ガスの検知	１．検知管：水銀蒸気用。
貯蔵上の注意	１．耐火構造。 ２．アジ化物、アセチレン、アンモニアから離しておく。 ３．蒸発を防ぐために、容器を水の層で覆う。
保護具	１．換気。 ２．保護手袋。 ３．保護衣。 ４．顔面シールドまたは呼吸用保護具と眼用保護具の併用。

9.物理的及び化学的性質

外観等	銀白色流動性のある金属元素。熱すれば激しく蒸散。沸点近くで長時間加熱すればHgOとなる。他金属と合金をつくる。
密度(比重または嵩比重)	13.55
蒸気圧	１．７３Pa（２０℃）；３７．１Pa（１００℃）
溶解性	水、アルコール、エーテルに不溶。希酸に不溶。濃硫酸、硝酸、王水に溶ける。
pH	該当情報なし
引火点	該当情報なし
爆発限界	該当情報なし
沸点	３５６．７℃
融点	－３８．８８℃

10.安定性及び反応性

危険有害な分解生成物	該当情報なし
加熱･燃焼	危険性有 １．空気中に水銀蒸気（毒性）が浮遊する。
水との接触	危険性無

空気との接触	危険性無
混触等	危険性有 １．アセチレン、アンモニアと反応して爆発性のある水銀アセチリドや、水銀と窒素の化合物を生じる。 ２．金属ナトリウムとは激しく反応する。

11. 有害性情報

皮膚に触れた場合	１．皮膚からも吸収される恐れある。 ２．皮膚炎の起こる可能性がある。
吸入した場合	１．頭痛、全身倦怠、食欲不振、口内炎、流涎、血尿、蛋白尿、血性下痢などをおこす。 ２．気中水銀濃度が高いと、腎障害、化学性肺炎をおこす。
急性毒性	（RTECS）
吸入毒性	ラットLCLo：３０㎎／ｍ３
がん原性	IARC；グループ３ ACGIH；A４
感作性	日本産業衛生学会；皮膚感作性物質第１群
変異原性	染色体；ヒト；陽性

12. 環境影響情報

生態影響	環境にとって危険であると思われる。水質汚染及び水生生物に対して特に注意すること。ヒトにとって重要な食物連鎖の中で、特に猟鳥類、魚類、魚を餌にする鳥類、哺乳動物において生物濃縮が起こる。（ICSC）

13. 廃棄上の注意

１．回収法：そのまま再生利用するため蒸留する。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

IMDG	クラス８　等級III
ICAO／IATA	クラス８　等級III　PAT８０３（３５kg）CAO８０３（３５kg）
国連番号／国連分類	UN２８０９（水銀）クラス８　等級III

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	第２条第１種指定化学物質
消防法	第９条の２貯蔵等の届出を要する物質政令別表第１水銀（３０kg）
毒物及び劇物取締法	第２条別表第１毒物（水銀）
バーゼル法	第２条特定有害廃棄物等（０．１重量%を超えるもの）
水質汚濁防止法	第２条有害物質
土壌汚染対策法	第２条特定有害物質
労働安全衛生法	施行令別表第３特定化学物質等（第２類物質）（水銀及びその無機化合物またはこれを含有する製剤その他の物。ただし含有量が１重量%以下のものを除く） 施行令第１８条名称等を表示すべき有害物（水銀及びその無機化合物またはこれを含有する製剤その他の物。ただし含有量が１重量%以下のものを除く） 施行令第１８条の２〔名称等を通知すべき有害物（ＭＳＤＳ対象物質）〕
外為法	輸出令別表第２の２１の２項、別表第２の３５の２項（０．１重量%を超える廃棄物）
船舶安全法	危規則第３条危険物等級８腐食性物質（正８容器等級３）
航空法	施行規則第１９４条危険物腐食性物質（Q等級３）

16. その他の情報

引用文献

化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険･有害性の評価は、現時点で入手できる資料･情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。